

インストール

- 現在使用中でアップデートする場合、この取説は不要です。[簡易取説_アップデート.md]を参照して下さい。
- 初めて使う場合、この取説に従いセットアップして下さい。

配置

zipファイル内のフォルダ `toShare` を適当な場所にコピー。

初期設定

- 実行ファイル `\toShare\toShare.exe` を起動する。
- PortNo.を設定する(`80` 、 `8000` 、 `8080` など)。
- Memoは文字通りメモです。任意です。

サーバー機能 起動と停止

- `Start` 押下でWeb/Restサーバー起動。
- `Stop` 押下でWeb/Restサーバー停止。

ファイアウォール(Windows設定)

toShare.exeと外部の送受信を許可する。 Windowsの設定によってはWeb/Restサーバー起動時に問われる。

初期設定の保存

PortNo.とサーバー状態は記憶し次の起動に引き継がれる。例えば

- toShare.exeの終了時にPortNo.8080でWeb/Restサーバー起動していた場合、
- toShare.exeを起動時にPortNo.8080でWeb/Restサーバー起動の状態となる。

自動起動

フォルダ スタートアップにtoShare.exeへのショートカットを作成。
スタートアップは「ファイル名を指定して実行(`Win + R`)」で `shell:startup` を指定すると開く。

データベース・バックアップ

登録データや予約情報はSQLiteファイル `\toShare\data\toShare.db` に保存している。このファイルをコピーする事でバックアップ出来る。また、DB Browser for SQLite などで参照編集可能。

アンインストール

- toShare.exeを終了しフォルダ `toShare` 削除。
- 自動起動していた場合はスタートアップのショートカットも削除。